



2021年3月11日

株式会社 F U J I

## 移乗サポートロボット「Hug T1-02」が

### 「第9回 ロボット大賞」で厚生労働大臣賞を受賞

株式会社 F U J I（本社：愛知県知立市、代表取締役社長：須原 信介）が開発した移乗サポートロボット「Hug T1-02」が「第9回 ロボット大賞」で介護・医療・健康分野における最高位の厚生労働大臣賞を受賞しました。

「ロボット大賞」は、経済産業省、一般社団法人 日本機械工業連合会、総務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、国土交通省が共催するもので、日本のロボット技術の発展やロボット活用の拡大などを促すため、特に優れたロボットや部品・ソフトウェア、それらの先進的な活用や研究開発、人材育成の取り組みなどを表彰する制度です。

（ロボット大賞 Web サイト） <https://www.robotaward.jp/>

#### 移乗サポートロボット「Hug T1-02」について

ひとりで立ち上がることが困難な高齢者の生活において、ベッドから起き上がり車椅子へ、車椅子からトイレへ、車椅子から入浴用チェアへと、移動（＝移乗）する機会は多いため、抱えあげ動作を行う介護者の身体的負担は大きく、腰痛の発生、離職が大きな社会課題となっています。

こうした課題を解決するため、移乗サポートロボット「Hug」を開発しました。移乗の際、高齢者は Hug へ寄りかかり、介護者は「たつ」ボタンを押すことで、立ち上がりの動作が行えます。力仕事を Hug に任せ、介護者は高齢者のケアに注力することができます。

今回受賞した「Hug T1-02」は、開発当初のコンセプトを踏襲しながら設計を一新することで、高齢者・介護者ともに、より受け入れやすい製品となりました。使用される方に合わせて身体保持部の高さ調整ができることから、病院・介護施設での使用に適しています。

#### 厚生労働大臣賞 評価のポイント

介護負担軽減のテーマの一つとして「移乗支援」が今、非常に重要となっています。Hug は高齢化による代表的な課題の一つである排泄介助用の機器として利用者の主たるニーズである軽量化、使いやすさを細部に至るまで検討し、数多くの工夫を盛り込んで市場から高い評価を得ている点が評価されました。

今後も F U J I は、移乗サポートロボット「Hug」の利用場面を広げるとともに、介護に従事される方々やご利用者の皆様の声に耳を傾けながら、介護に貢献できるロボットをさらに進化させて提供してまいります。

# Hug

移乗サポートロボット Hug（ハグ）は介護のある暮らしに寄り添うロボットです。座位間の移乗動作、トイレ・脱衣所などでの立位保持をサポート。介護者の身体負担の軽減にも役立ちます。



製品紹介 URL : <https://www.fuji.co.jp/items/hug/hugt1>

製品紹介動画 URL : <https://youtu.be/lkOqKd3llp4>

※移乗サポートロボット「Hug」は、経産省・AMED が行う「ロボット介護機器開発・導入促進事業」の成果を活用しています。

## ■会社概要

会社名 : 株式会社 F U J I

代表者 : 代表取締役社長 須原 信介

所在地 : 〒472-8686 愛知県知立市山町茶碓山 19

設立 : 1959年4月

事業内容 : 電子部品実装ロボットならびに工作機械の開発、製造、販売

資本金 : 5,878 百万円

会社 URL : <https://www.fuji.co.jp/>

## ■本件に関するお問い合わせ

ロボットソリューション事業本部 第四営業部 第2営業課 杉浦

TEL: 0566-55-8800

E-Mail : [hug@fuji.co.jp](mailto:hug@fuji.co.jp)